

徳島県の重要要望

【高規格道路関係】

昭和南海地震(S21)

牟岐町



家屋倒壊による道路閉塞

美波町



津波による橋梁落下

出典：徳島地方気象台ホームページ

能登半島地震(R6)



土砂崩落による道路閉塞



液状化による地盤沈下

出典：国土交通省ホームページ

切迫する南海トラフ巨大地震で想定される被害

徳島県／市町村

徳島県議会徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道建設促進議員連盟

徳島県議会徳島自動車道整備促進議員連盟

徳島自動車道四車線化促進期成同盟会

関係団体

令和6年11月21日

要望事項

① 高規格道路の整備を推進する予算の確保

- ・ 頻発する災害や物価高騰を踏まえ、国土強靱化や生産性向上、さらには地方創生にも繋がる高規格道路の整備を継続的・安定的に進めるため、令和6年度補正予算において、例年を大幅に上回る規模で、必要な予算・財源を確保するとともに、
「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を大きく上回る規模の「国土強靱化実施中期計画」を早急に策定し、当初予算措置も含め、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。

② 「徳島南部自動車道」及び「阿南安芸自動車道」の早期整備

説明資料
P 1

- ・ 阿南安芸自動車道について、
四国8の字ネットワークで未事業化区間として唯一取り残された、「美波・牟岐間」の計画段階評価及び「牟岐・海部間」の新規事業化を一刻も早く行うとともに、「桑野道路」、「福井道路」の更なる工事推進や、「海部野根道路」の早期工事着手を図ること。
- ・ 徳島南部自動車道について、
「徳島津田・阿南間」の大規模構造物の整備を加速し、早期供用を図るとともに、中でも、開通見通しが公表された「小松島南・阿南間」は、令和7年度の確実な供用を図ること。

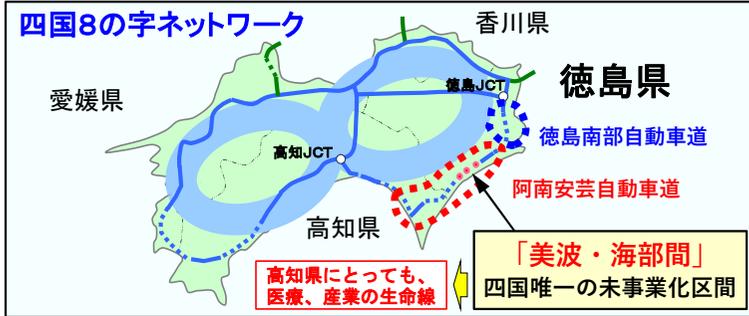
③ 「徳島自動車道」の早期4車線化

説明資料
P 2

- ・ 料金徴収期間の延長による財源を活用し、
「安全・安心基本計画」で「優先整備区間」に選定された「藍住・川之江東JCT間」の全線4車線化の早期実現を図るとともに、適切な維持管理と更新事業や耐震補強等の機能強化を着実に進めること。
- ・ 特に、「井川池田・川之江東JCT間」及び「脇町・美馬間」の早期事業化、及び「土成・吉野川SAスマートIC間」の4車線化事業のスピードアップを図ること。

④ 国土強靱化に向けた体制の強化

- ・ 南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模自然災害に迅速かつ適確に対処するため、四国地方整備局において、必要な人員の確保、県南部への事務所の新設や出張所の格上げ等の組織体制強化を図ること。



南海トラフ巨大地震への備えの現状

「南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」における高規格道路の整備状況

高規格道路ネットワーク図 (国土交通省HP資料をもとに作成)



関係者が一致団結し初開催



代替路が無い

◆幹線道路の現状

- ・国道55号の1本のみ
- ・沿岸部は津波で広範囲が浸水

⇒ 災害時の「代替路」が無く、
能登半島(3本)よりも更に脆弱

整備率が低い



未事業化区間が多い

◆徳島県の未事業化率(26%)

- ・強化地域全体の3倍超

◆美波・海部間(約23km)

* 複数地域を繋ぐ広域路線(半島以外)では、
強化地域唯一の未事業化区間

地域差の無い「真の国土強靱化」に向けて

「みち」と「まち」が一体となった事前復興の推進

「命の道」の整備促進に向けた環境整備

(町) 用地取得の迅速化のため、ルート帯の地籍調査を先行

(県) 用地推進センターを設置し、用地取得を国から受託
(県・公社の職員を配置し、過去10年で100億円超を買収)

美波・牟岐間 計画段階評価の早期着手を!

地籍調査: ルート決定に先んじて着手済

牟岐・海部間 早期事業化を!

地籍調査: R6年度完了予定

早期工事着手を!

海部野根道路
用地取得: 2年弱で
(日比原・鳴海地区) ほぼ完了

一日も早い
全線供用を!

命を守る「高台拠点まちづくり」

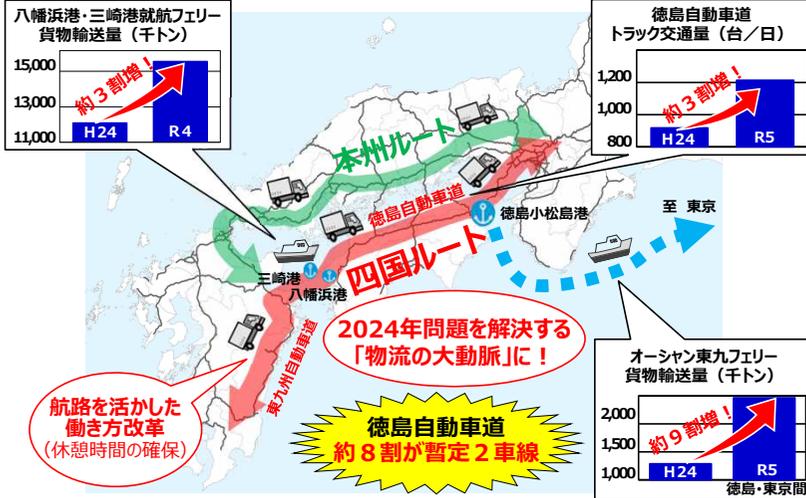


最大津波高21m
(美波町)

津波浸水想定区域
国道55号浸水箇所

津波影響開始時間4分
(海陽町)

「四国ルート」へのモーダルシフトが進展



徳島自動車道における暫定2車線区間の課題

ネットワークの代替性の確保

暫定2車線の場合
長期にわたり緊急車両の通行を阻害！

4車線の場合
対面通行で早期に通行可能！
通行確保 安全対策 復旧工事

事故防止
徳島自動車道は、全国(4車線以上)に比べて死亡事故率(H25~R2)が約2倍！

時間信頼性の確保
徳島自動車道は、追い越しができず速度低下！

能登半島地震 4車線区間は早期に開放！

路肩崩壊 路面段差が発生！

発災翌日には通行が可能に！

県西部の魅力ある観光地へのアクセス向上

にし阿波～剣山・吉野川観光圏と連携した地域づくり

三好ジオパーク(三好市・東みよし町)

・令和6年10月9日「日本ジオパーク」に認定

剣山(つるぎ町他)

うだつの街並み(美馬市)

・地域ならではのツアーの開発

・多言語対応を推進

令和5年の外国人延べ宿泊者数：約13万人
10年前と比較すると約4倍！(2023/2013比)

4車線化による定時性の確保
⇒広域的な周遊観光を支援！



徳島県

徳島県知事 後藤田 正 純

市町村

徳島市長	遠藤 彰 良	鳴門市長	泉 理 彦
小松島市長	中山 俊 雄	阿南市長	岩 佐 義 弘
吉野川市長	原 井 敬 一	阿波市長	町 田 寿 人
美馬市長	加美 一 成	三好市長	高 井 美 穂
勝浦町長	野上 武 典	上勝町長	花 本 靖
佐那河内村長	岩城 福 治	石井町長	小 林 智 仁
神山町長	河野 雅 俊	那賀町長	橋 本 浩 志
牟岐町長	枘 富 治	美波町長	影 治 信 良
海陽町長	三浦 茂 貴	松茂町長	吉 田 直 人
北島町長	古川 保 博	藍住町長	高 橋 英 夫
板野町長	玉井 孝 治	上板町長	松 田 卓 男
つるぎ町長	兼 西 茂	東みよし町長	松 浦 敬 治

徳島県議会徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道建設促進議員連盟

会長	岡本 富 治	副会長	古川 広 志
副会長	重清 佳 之	幹事長	嘉見 博 之
監事	仁木 啓 人	監事	立川 了 大
	福山 博 史		須見 一 仁
	庄野 昌 彦		梶原 一 哉
	井川 龍 二		岡 佑 樹 臣
	岡田 理 絵		原 本 徹 彦
	井村 保 正		沢 下 賢 功
	寺 野 正 司		木 山 尚 道
	古 野 一 人		平 元 章 生

徳島県議会徳島自動車道整備促進議員連盟

会長	寺井 正 邇	副会長	古川 広 志
幹事長	眞貝 浩 司	監事	梶原 一 哉
監事	立川 了 大		福山 博 史
	井川 龍 二		岡 佑 樹 臣
	岡田 理 絵		原 田 徹 晋
	坂口 誠 治		岡 下 賢 功
	大塚 明 廣		木 下 野 司
	井下 泰 憲		古 野 一 人
	平 山 尚 道		元 木 章 生

徳島自動車道四車線化促進期成同盟会

会長	板野町長	玉井 孝 治
副会長	藍住町長	高橋 英 卓
副会長	上板町長	松田 卓 理
理事	鳴門市長	泉 吉 田 直 人
理事	松茂町長	吉 町 田 寿 一
理事	阿波市長	加美 藤 一 彰
理事	美馬市長	遠藤 城 福
	徳島市長	岩 林 智 雅
	佐那河内村長	小 河 野 保
	石井町長	古川 井 博 敬
	神山町長	原 兼 西 茂 治
	北島町長	高 松 浦 敬 美
	吉野川市長	篠 井 穗 実
	つるぎ町長	
	東みよし町長	
	三好市長	
	四国中央市長	

関係団体

徳島県商工会議所連合会	会長	阿部 和 英
徳島県商工会連合会	会長	岡本 富 治
徳島県中小企業団体中央会	会長	布川 徹 奨
徳島経済同友会	代表幹事	岡 康 弘
	代表幹事	三木 香 与 子
徳島県経営者協会	会長	林 藤 岡 成 輝
徳島県観光協会	理事長	松 田 泉 清 隆
徳島県農業協同組合中央会	代表理事会長	和 久 米 順 義
徳島県森林組合連合会	代表理事会長	久 齋 藤 義 二
徳島県漁業協同組合連合会	代表理事会長	泉 米 藤 義 二
徳島県医師会	会長	齋 湯 藤 義 二
徳島県トラック協会	会長	湯 藤 義 二
徳島県バス協会	会長	湯 藤 義 二
徳島県タクシー協会	会長	湯 藤 義 二
徳島県建設業協会	会長	湯 藤 義 二